



大阪YWCA

11

2021

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

苦しみの証言からおこされた祈り!



渡邊 さゆり

11月の起り

2021年2月1日未明、ミャンマー国軍による軍事クーデターが起きた後、全土100万人以上の市民が街頭に出て反対の意を表しました。しかし、国軍は自国民に対し実弾射撃を始めました。市民は、国軍によって逮捕され、拷問を受け、殺害され、女性に対するレイプが続いています。1136人が殺害されています。8504人が拘束されています(9月27日現在)。

クーデター直後、市民は鍋や皿を叩いて抗議しました。鍋が叩かれ続けることに、国軍は苛立ち、市民が鍋を持つことを取り締まります。銃を持つ側が鍋に脅威を抱いている事実が、軍事暴力の愚かさを表しています。

日本の政府は

日本政府は、国軍との「パイプ」で仲介役をすると言っていました。それはミャンマー市民の命のための「パイプ」ではありません。9月には、新たに国軍関係者4人の留学を日本の国立大学で受け

入れるほどの親密さを、日本政府は国軍側とだけ強め、見えない「後ろ盾」を続けています。

祈り会のきっかけ

ミャンマーにルーツを持つ私の友人が、2月以降、故郷で流される血、叫び声、逃げた人々の足音を想像し苦しんでならないと話されました。それが、「ミャンマーを覚える祈り会」を始めるきっかけでした。2月12日(金)から毎週、私たちはオンラインで祈り会を開いています。参加はキリスト教信者だけではありません。毎回90人前後が集まります。壮絶な痛みの傷口を「被害者ポルノ」的に情報拡散せず、証言を聴き、ことばを祈りを発し、鍋叩きをしています。6ヶ月目に、この集まりから「アトウトウミャンマー支援」というサポート団体が立ち上がりました。(アトウトウ「共に」というビルマ語)。

「ミャンマーを覚える祈り会」

時間 毎週金曜日 21:00~21:40
実施形態 オンライン
ミーティングID 835 4339 0368
パスワード 540189
(こちらで毎回、鍋を叩く抵抗を実践しています。)

わたなべ さゆり
マイノリティ宣教センター共同主事/駒込平和教会牧師

つながらりあいを続け、「生き残ってほしい」とアトウトウは始まりました。在日ミャンマー人の生活支援、日本語サポートや同行支援も並行して行っています。ミャンマーの教会から最初に届いたアトウトウへのリクエストは、「亡くなった方を埋葬するために、ご遺体を運ぶキャスタール付きの台がなくて困っている」でした。「こんな悲嘆を神が見逃すはずがない」と、復活の信に立ち、集められた献金からご遺体を運ぶ台を購入させていただきました。

アトウトウミャンマー支援

軍事暴力とは逆の、小規模でも、たおやかで、顔が見え

政治はわたしたちの生活そのもの

沖縄の日常の中で



来年、本土復帰50年を迎える沖縄は、戦後76年が経過した今もなお、島の水・空・海、子どもたちの今と未来、生活と命が日々脅かされている。悲惨な戦争が形を変えて存在し、人権が踏みにじられ、ただ平和とは言えない。

戦後も基地のフェンスに囲まれ、権力者に翻弄されながらも、水の汚染や米軍機の部品落下事故、それぞれの場所で声を上げてきたママたちが、今年2月米軍の軍港建設が争点となった市長選挙で繋がった。

1ヶ月の短い選挙戦で、選挙に初参加のママ、一緒に活躍した。

私は市民団体やママの会から要請をうけ、「戦争のための軍港はいらない。海を守りたい。」と願う市民の受け皿となるため、沖縄の不条理と



浦添市長選挙 ママたちと街頭宣伝(2021.1)

動してきたママが仕事や子育ての合間に「私たち市民には力がある！」と自らの言葉で訴えてくれた。毎日の情報共有、政党やおじさん政治家任せにはせず、ママたちと政策も考えた手づくりの選挙。これほど多くの女性たちが立ち上がった選挙は初めてだと言われた。落選したが、終わりではなく新たな始まりとなり、今も繋がったママたちと水の汚染問題に取り組んでいる。沖縄では、戦争を経験した高齢者、しがらみのある現役世代、基地の存在が当たり前のも事実。部品落下事故で声を上げれば「政治的」と言われ、誹謗中傷をうけたママもいた。米軍基地が原因とされる水の汚染問題では「ヒステリー」と揶揄された。日米地位協定の壁、日本政府の主権国家と

言えぬ姿勢に犠牲を強いられ怒りと共に無力感に苛まれる一方で、果たしてこの口を噤み、耳を塞ぎ、黙認できるのか。子ども達が生きる沖縄を諦めるわけにはいかない。社会を構成し民主主義をつくる一人ひとりが、疑問や違和感をそのままにしないこと。生活者として日々を生きる普通の人が声を上げること。政治は私たちの生活そのもの。その感覚から政治的リテラシー(※注)も主権者意識も芽生え、政治や社会を変える力になる。いつか、フランスの寓話『茶色の朝』のように私たちの世界が知らぬ間に蝕まれぬよう、虹色の鮮やかな世界を彩る市民として、共にこれからは声を上げ行動し続けよう。(注)政治的リテラシー…政治を読み解く力、見抜く力、判断する力。



水の汚染問題で沖縄防衛局に抗議要請(2021.9.2)



水の汚染問題で外務省沖縄事務所に抗議要請(2021.9.2)

いいい
伊礼 ゆうき

元看護師、元浦添市議(2期)、
2021年2月の浦添市長選挙候補者

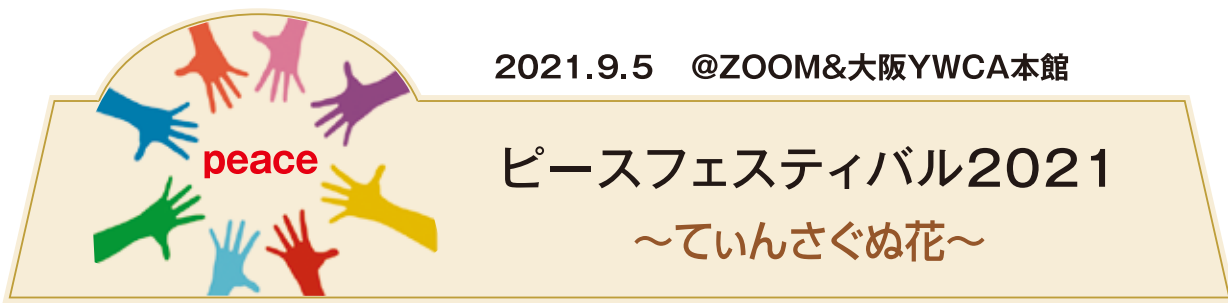


御大切に「ご安全に」

新型コロナウイルスの感染が始まって3か月程経った昨年の4月頃です。「安全に」の頭に「ご」を付けた「ご安全に」という挨拶に初めて出会い、良い言い方だと心に留まって以来、毎日使っています。

それは「御大切に」ということばを思い起こしたからです。1600年初め、ヨーロッパから日本にやってきた宣教師たちは、「愛」という言葉を知らなかった日本人に「神を御大切に思い、我が身を思うように隣人を大切に思うことが大きな教えです」と、「聖書の愛」を伝え導きました。「愛する」ということを理解しているの?」「愛することをいかにしているの?」と胸の内に問いかけると、「当然です」と応え切れない自分があります。せめて隣人に、さりげなくあなたたく「ご安全に」と声をかけて、「御大切に」の真意を届けようとしています。

(会友 錦織 一郎)



2021.9.5 @ZOOM&大阪YWCA本館

ピースフェスティバル2021

～ていんさぐぬ花～

今年のピースフェスティバルは、2021年9月5日(日) 14:00～16:00に実施、今なお日本全国一軍基地が多く集中している沖縄で、子どもたちの健やかな育ちを守りたい一心で立ち上がったママたちの活動から考える時を、東京・名古屋・京都・神戸・大阪・沖縄のYWCAに繋がる仲間や一般参加の方々と共に持ちました。本プログラムに先立ち、午前中には、立ち上がったママたちのドキュメンタリー映像「ていんさぐぬ花 ママたちの沖縄」を上映しました。コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言のため、午前午後ともに、ZOOMによるオンライン開催でしたが、逆に遠方の人々と同じ時間を共有できました。



14時からは、本紙2面にご投稿くださった伊礼ゆうきさんの講演「ていんさぐぬ花」沖縄の基地から見えてくるもの」、名古屋YWCA青少年部会から新倉春美さんによる「沖縄スタディツアー報告」と南城友佳里さんによる「沖縄スタッフで歴史を知り、考

えたこと」、東京YWCA加藤初果さんからは「辺野古に行つて考えたこと」、沖縄YWCAユース部門ルピナスの又吉さやかさんによる活動報告と続き、講演・各報告を受けてのグループディスカッションを行いました。

沖縄の基地問題は深刻な状況であること、実はみんなの問題であること、そこに生きる人間を大切にしない政治を許してはいけないことを再認識し、今回ご縁に今後繋がり深めて活動して行こう、と感想を述べ合うような一日でした。

(会員 津戸 真弓)



わたしのイチオシ!

Tシャツ!

「沖縄のいまをきく」(東京Y主催)にオンライン参加してヘリ基地反対協議会にカンパを送ったら礼状にオリジナルTシャツのパンフレットが同封されていた。【SAVE HENOKO】の色柄にひと目ぼれして、さっそく紺と白のペアを注文。年中Tシャツという加計呂麻島の一家に送った。綿100%ベトナム製
注文先のmail: herikiti@mco.ne.jp
(会員 原 紀子)

染矢明日香さん(NPO法人ピルコン代表)の講演で「包括的性教育」とその実践例を学んだ。ピルコンは市民と共に中高生や保護者に向けた性教育を行っている。「包括的性教育」では、「性」を性交や出産のことだけでなく、人との関わり方や相手の立場を考慮することとして捉える。科学、ジェンダー平等に基づいて行われ、その本質は人権教育だ。

染矢さんは「若い人の性交を良くないと扱うのが性教育ではない」また、「産みの性教育は相談を妨げる」と言う。「望まない妊娠は起こりうる。あなたにはケアを受けられる」と伝え、もし相談を受けたら、「避妊できなかつた背景」を共に考え、

いつでもやり直せると伝えることを大切にしている。
私も20歳で望まぬ妊娠をした。「だらしない」「未熟者」「人殺し」、身近な女性達からの言葉は今も冷たく心に残る。あの時、私が前を向くために必要だったのは「性教育」だったのかもしれない。「危険から身を守る」「失敗を起こさない」とネガティブな視点から性を学んできた。染矢さんの語る性教育はポジティブだった。性は人生を楽しみ豊かにするもの。私には価値があり、力があると知る機会。考え選ぶ主体となるための教育。そんな性教育を日本でも一刻も早く実現したい。

(大阪YWCAインターンシップ 参加者 橋本 真菜)



『人権教育としての「包括的性教育」』
「始めるためにまず知るべきこと」
女性エンパワメント推進チーム主催(9/11)

聖書の言葉

あなたがたの中で苦しんでいる人は、祈りなさい。喜んでいる人は、賛美の歌をうたいなさい。
(ヤコブの手紙5章13節)



FUJIKI

未来へ——安心を創る
藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
ニッセイ備後ビル1階
TEL06-4964-8700

オフィスの移転・改装 / ショップの新装改装



株式会社

オフィスインテリア

国土交通大臣許可 26021号
建築士事務所(法)第6554号

大阪オフィス

〒534-0024
大阪市都島区東野田町 4-1-10
TEL: 06 (6351) 8830(代)
FAX: 06 (6351) 8840
http://www.office-interior.net

東京オフィス

〒135-0023 東京都江東区平野 3-4-1
藤和シテイコボ木場公園 101号
TEL: 03 (5875) 8315
FAX: 03 (5875) 8316

コロナ禍でも **元気な** 大阪YWCA

「男女共同参画推進フォーラム」へ出展決定

ユース

今年度始まった女性のためのリーダーシップトレーニング「大阪YWCAインターンシッププログラム」チームが、今年度の国立女性教育会館主催「男女共同参画推進フォーラム」(通称NWECフォーラム)に出展することが決定しました!『私たちの言葉には力がある! 性教育について考えよう』をテーマに、12月18日にオンラインでワークショップを行います。毎月一回のジェンダー講座に加え、NWECフォーラムの準備のために月1~2回オンラインでミーティングを行い、熱く議論を交わしながら元気にワークショップ作りを進めています。

NWECフォーラムでは、ネガティブな性のイメージから自由になり、女性が自分のことは自分で決められる社会、女性が発する言葉が反映されることが常識となる社会の実現のため、学校で学ぶ性教育だけで



はなく、実生活でも実践・活用の出来る性教育を楽しく提案します。

興味がある方、応援に来てくださる方、是非NWECのHPから参加をお申込みください!

お申込みは国立女性会館のNWECフォーラム特設サイトより(NWECフォーラム)で検索。申込期間は11/24(水)から、定員になり次第締切。参加費は無料です。

千里

配食チーム

休まず元気に活動しています! 美味しく栄養満点のお弁当を作っています。



配色サービス



みんなで準備中

梅田

バザー&マスク製作

梅田本館受付ではクリスマスマスク「クリスマスマスク」を販売しています。

会員ルームでは気まぐれにバザーを開催しています。



大阪YWCA「クリスマス」



梅田会員ルーム「気まぐれバザー」

日本文化をみつめなおす~伝統的なお出汁とは?~ 2021.9.18 @大阪YWCA本館

日本には食文化という固有の伝統文化があります。しかし近年、地球の温暖化に伴って日本の古来から伝わる本当の原料が年々減少し、本当の原料ではない物が販売され続けている現状があります。そこで日本の食文化である「本当のお出汁」とは?について、大阪浪速の鶴橋に本店を構えて70有余年、老舗昆布司「吾妻屋」の取締役向久保裕介さんにお話をさせていただきました。



10月運営委員会報告

- 【報告】▼こども部 12/5
- クリスマス会「歌声届けよう
- ハッピークリスマス」▼グ
- ループパレット 10/17「ハ
- ロウィン・ハーバリウム作り」
- ▼梅田会員部 10/16「愛が

9月運営委員会報告

- 【報告】▼女性エンパワメント
- 推進 9/11「包括的性教育」
- オンライン学習会 ▼梅田
- 会員部 9/18「日本の食文化を
- みつめなおす」講座
- 【協議】①ピースフェスティ
- バルふりかえり ②クリスマ
- スバザーについて

冬休みこどもミニスクール

~不思議な理科実験:磁石で遊ぼう!
世界唯一の「私のマスク」を作ろう!~

【日時】12月27日(月)10:00~15:00
【場所】大阪YWCA 千里
【参加費】4,000円/人



ご協力ありがとうございます

賛助費

- 21/8/1~21/9/30(敬称略順不同)
- 貴志 慶子 都木 直文 加輪上敏彦
- 藤井 保男 堀西 敏子 西条 哲
- 榊居 孝 大森 浩平 古谷 桂子
- 大西 徳子 笹部 真樹 片山 淳子
- 奥野由里子 西名 貞子 谷川 毅
- 大川 哲次 越後 靖子 滝根 圭子
- 森垣友二郎 宗像千代子 田中佐和子
- 岡田 紀子 梶原 汎子 松下 起子
- 大阪商工会議所
- 積水化学工業株式会社

寄付

- 中山 羊奈 有山 龍作 森垣友二郎
- 村松 通子 横内いづみ 橋本智香子
- 栗野 陽一 匿名1名
- 朝川 晃子 鶴崎 祥子
- 豊中千里ロータリークラブ

会員維持費

- 川上 悦子 朝川 晃子

募金

- 15口 1891、344円

残した正倉院宝物」講座
▼千里委員会 12/8クリスマス会
【協議】①YM&YW合同祈
禱週集会11/9

訃報

- 会員 平松 末子さん 8月23日逝去(100歳)
- 会員 櫻井 愛子さん 9月20日逝去(95歳)



ご支援のお願い

新型コロナウイルスパンデミックによる緊急事態宣言等がようやく解除され、対面での活動や事業が戻りつつあります。社会生活への変化や制限を受入れながらより多くの人に支援が届くよう真摯に社会貢献活動に取り組んで参ります。大阪YWCAの活動のための募金にどうぞご協力を願います。